

# 経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

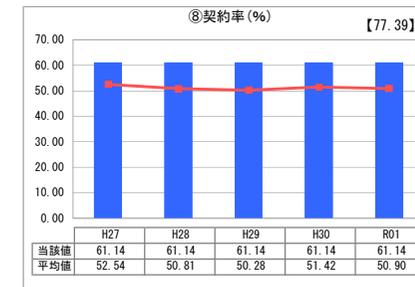
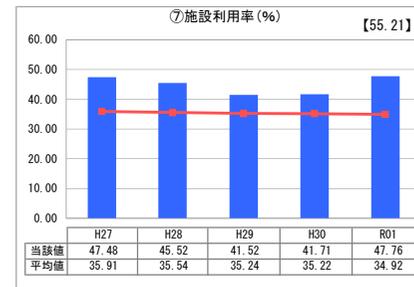
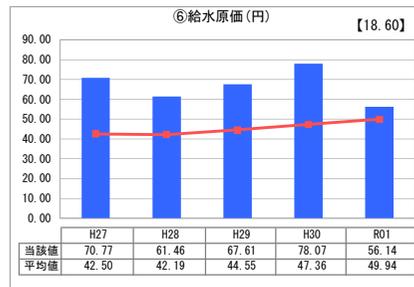
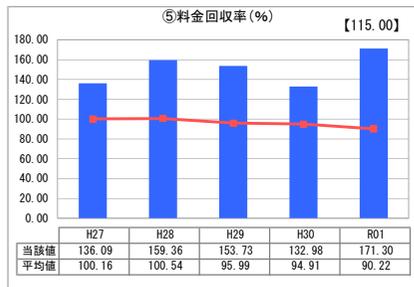
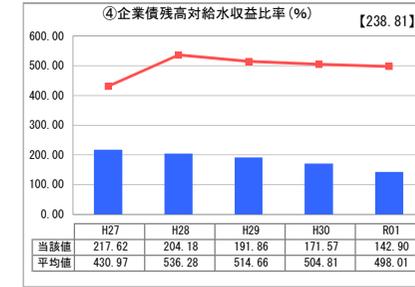
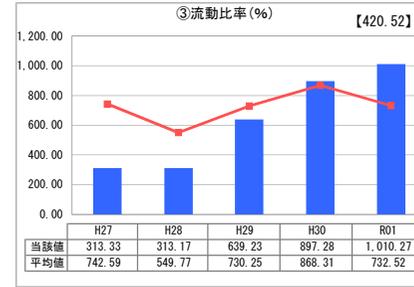
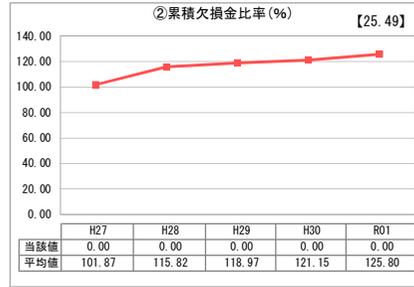
岩手県 一関市  
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	2,100	極小規模	1	1,003
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	78.6	2	1,284	非設置	

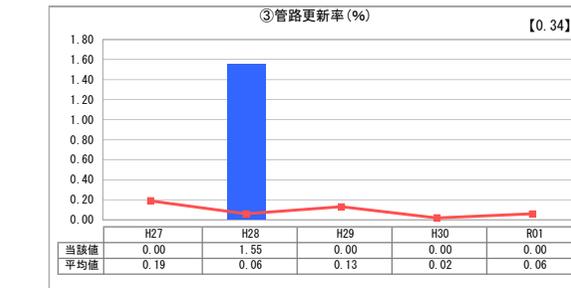
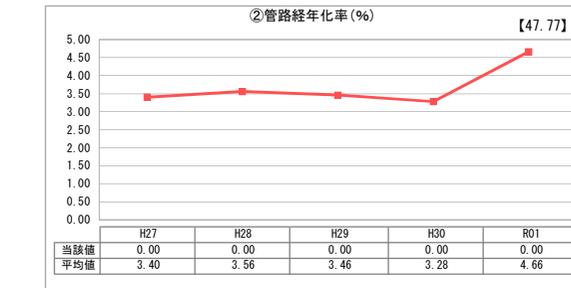
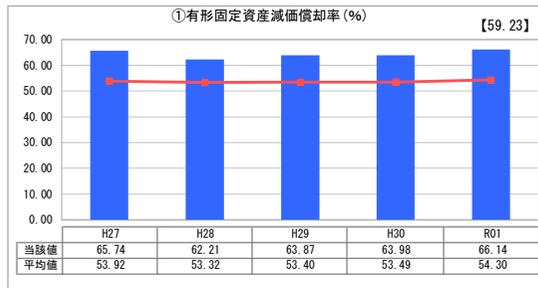
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率(①)は、類似団体等と比較して高い水準にあり、安定した収益を確保しています。企業債残高対給水収益比率(④)は、類似団体等との比較において低い数値で推移しており、当面、施設更新に伴う企業債発行の見込みもないことから、今後とも適宜の見直しを予定しています。給水原価(⑥)は、類似団体等との比較では高値となっていますが、前年度以前との比較や料金回収率(⑤)、施設利用率(⑦)が向上しているように、効率的な経営が行われていると考えられます。また、施設利用率(⑦)、契約率(⑧)は、類似団体との比較では高い数値を示しているものの、施設能力の半分以上が遊休状態となっていることから、施設更新時にダウンサイジングを検討していきます。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率(①)は、類似団体等との比較では若干高い数値となっていますが、管路経年率(②)や管路更新率(③)、企業債残高対給水収益比率(④)の数値及び数値変動にあるとおり、自己財源により適時設備更新が進められています。

### 全体総括

各経営指標から健全な経営状態を維持していると考えられますが、昭和62年1月の供用開始から30年以上経過しており、今後は施設の大規模更新に向けた検討が必要となります。将来の水需要の動向を見極め、ダウンサイジングを含めた施設更新の検討と計画的な資金確保に努めていきます。